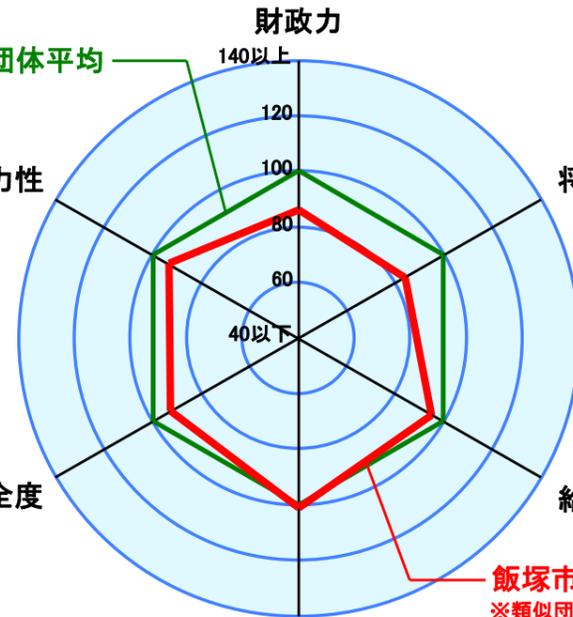


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

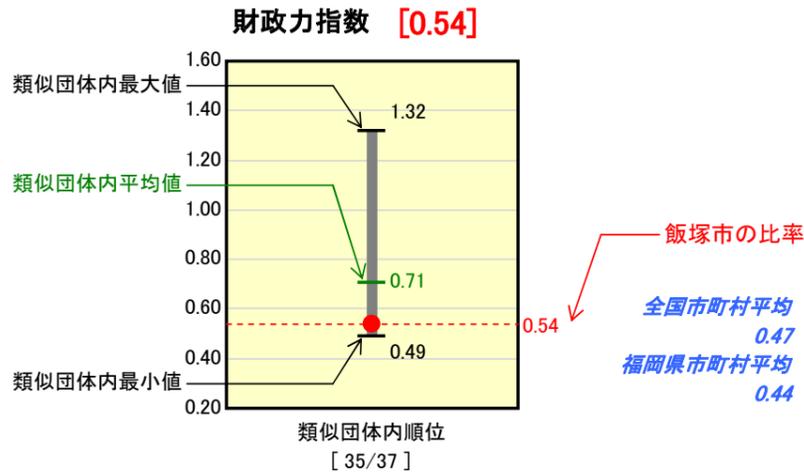
福岡県 飯塚市

人口	79,727 人(H17.3.31現在)
面積	71.80 km ²
歳入総額	32,253,773 千円
歳出総額	31,545,838 千円
実質収支	700,669 千円

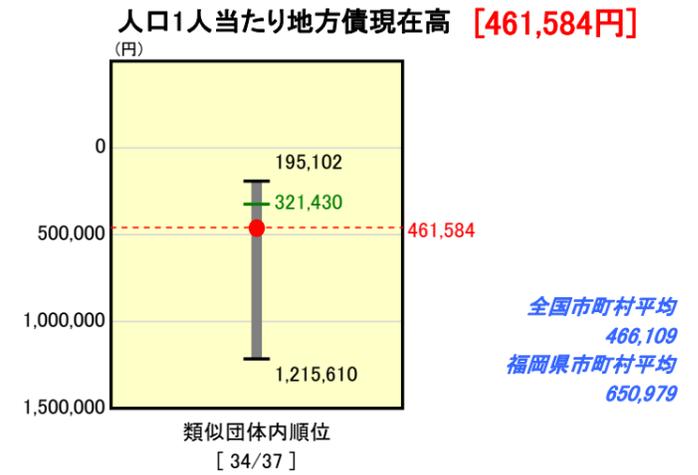


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

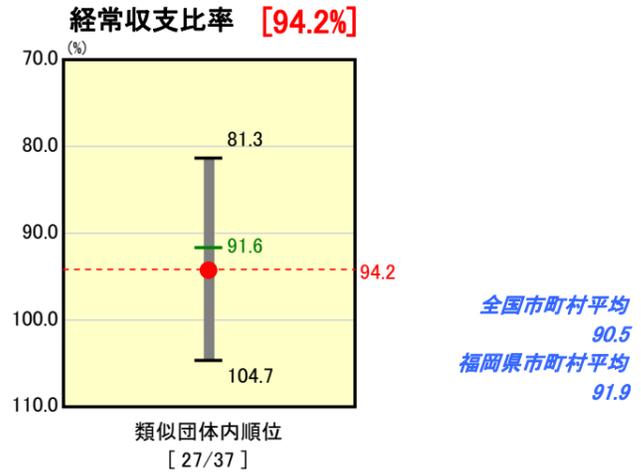
財政力



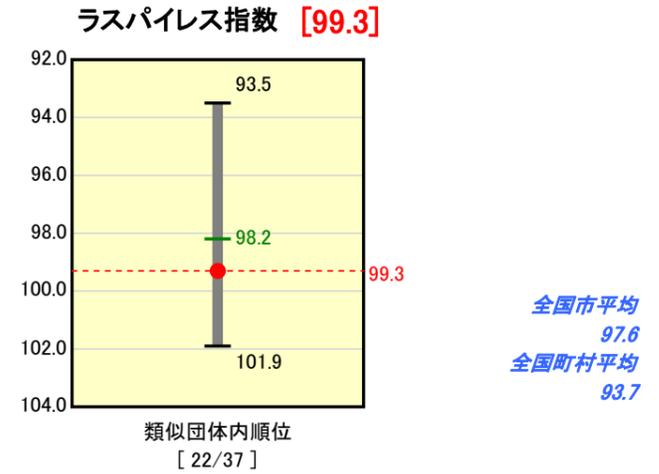
将来負担の健全度



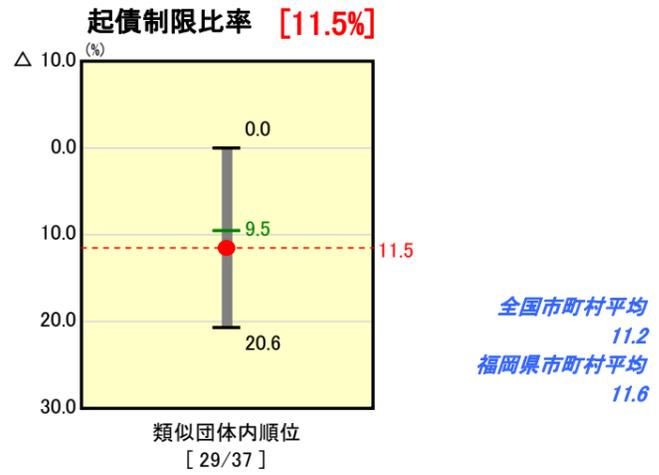
財政構造の弾力性



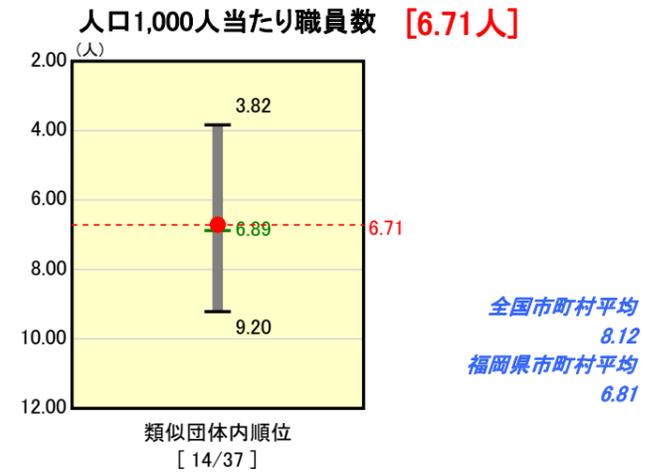
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
旧産炭地特有の経済構造として、生活保護率が高いことをはじめとする低所得者が多く、併せて人口の減少、高齢化の進展に伴う税収等の低迷により歳入が減少している。平成9年度を第1次の初年度として現在第3次の行政改革を実施中であり、行財政の健全化を図っている。

○経常収支比率
扶助費の増加及びクリーンセンター(清掃工場)の起債において、13年度から元金の償還開始となったことによる公債費の増加により、経常収支比率が上昇している。行政改革により義務的経費の見直しを進めるうえで、特に人件費の抑制を図っているが、今後はその他の経費についても更なる見直しが必要である。

○起債制限比率
平成5年度のし尿処理場建設以降、コミュニティセンター、クリーンセンター、新飯塚駅舎整備等の大型事業の実施により地方債が増加し、それに伴ない公債費が増加している。今後は災害対策として施設の新設改良事業を計画しているが、事業実施に際しては年次計画により公債費負担の適正化に努めていく。

○人口1人当たり地方債現在高
平成5年度のし尿処理場建設以降、コミュニティセンター、クリーンセンター、新飯塚駅舎整備等の大型事業の実施により地方債が増加している。今後は災害対策として施設の新設改良事業を計画しているが、事業実施に際しては年次計画により将来負担の適正化に努めていく。

○ラスパイレス指数
旧来からの給与体系により類似団体平均を1.1上回っている。行政改革においては、職員数の削減に取り組んできており、今後は給与体系及び昇給・昇格についても、その適正化に取り組む必要がある。

○人口1,000人当たり職員数
行政改革による職員の新規採用抑制により類似団体平均を下回っているが、今後はアウトソーシング等により適切な定員管理を行なう。